

今治市支部 保育園の活動

みんなで楽しく体力づくり！～今年からの挑戦～

転んだ時に手をつかずに顔を怪我する子、周りが見えていなくてぶつかる子どもが増えたね。基礎体力や運動能力が気になるね。運動遊びって普通の遊びの中でしているけど、もっと積極的にテーマを考えて取り組む必要があるよね・・・ということで、今年から曜日により『運動遊びの日』（各年齢に応じてクラスで）や『体操の日』（全園児一緒）を決めて、毎週取り組んでいます。



今、園中で盛り上がっている駅伝は、運動会のリレーを4・5歳混合でしたことで取り組み、準備がスムーズでした。3歳以上児混合で4色のチームを作り、毎週一回駅伝ごっこ。毎月一回駅伝大会をして表彰式もしています。個人競技のマラソン大会もあります。

園庭の端いっぱいコースを作り、遊んでいる未満児をうまくよけながら走っている姿は、状況判断など咄嗟に体が反応する力が身についてきていると感じます。直線の少ないトラックに比べ、2倍の距離を走るため、5歳児はスピードを増して存分に走り、運動会時に比べ随分足が速くなってきました。

**走る前には、年長児がリードして
作戦を練ります。**

作戦会議中...



よ～いどん♪



**【作戦】
遊具の隙間をすい抜ける！！**



負けると悔しくて涙を流す5歳児もいますが、チーム監督の保育士の元、次はどうしたら速く走れるか作戦を考え、気を取り直しては【エイエイオー！】と気合が入っています。

毎週結果を表にして発信することで、家族での会話が弾み、親子ともに運動への関心も高まってきています。



駅伝を通して、チームで力を合わせないと楽しくできないことが分かり、全力を出し切る達成感や小さい子への優しさ、チームを思いやる仲間意識が育ちつつあります。
(志々満保育園)



人は老若男女を問わず、おいしいものを食べた時、 幸せを感じる生き物のようです

今年も九月十三日土曜日に「祖父母参観日」を実施いたしました。

龍門保育園では、敬老の日に近い土曜日に祖父母参観日を実施しはじめて、もう二十五年以上になります。この行事の目玉が、参加者全員揃っての食事会です。メニューは、パック詰めした「五目御飯」と「鯛の切り身のお吸い物」です。二十五年以上続く看板メニューです。しかも調理する数が半端ではありません。一人の園児に父親の両親と母親の両親の四人参加申し込みをされるケースもあり、全員で、百三十食から百四十食を用意せねばなりません。その為、給食担当の二人の職員にパートの人の加勢を得て、やっと食事会の時間に間に合う忙しさです。給食室は戦場さながらですが、その後の食事会で至福の顔をして、お孫さんと一緒にごちそうを食べている、おじいさん、おばあさんの姿を見ると疲れも吹っ飛ぶとのことでした。

食堂は二つの保育室の仕切りをしているアコーディオン壁を収納して、広い空間を用意します。あるだけの机と椅子を並べても足りないなので、折り畳み式の長机と座布団を近くのお寺から借りてきて用意します。急ごしらえの食堂ですが、五目御飯を食べながら幸せそうな顔・顔・顔・が百三十以上も集まるとこの世の楽園のようでした。

「ご馳走になりました」と嬉しそうに挨拶をして家路につくおじいさん、おばあさんを見送る職員も、幸せな気分になりました。

最後に、食事会になるまでは、屋外で園児と祖父母対抗の玉入れや、ゲーム、室内では普段の保育の様子を参観していただき、園児の作成した品物をプレゼントした事と、祖父母の食費の費用徴収したことを申し添え、終わらせていただきます。

(龍門保育園)

